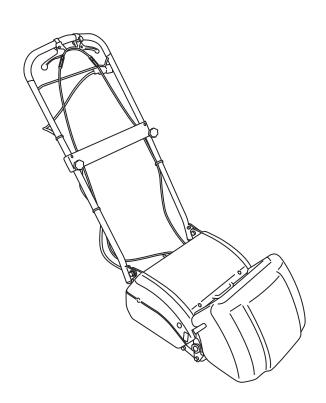
バロネス

LM12V

自走式サッチングスイーパー

取扱説明書

「必読」ご使用前に必ず本書をお読みください。

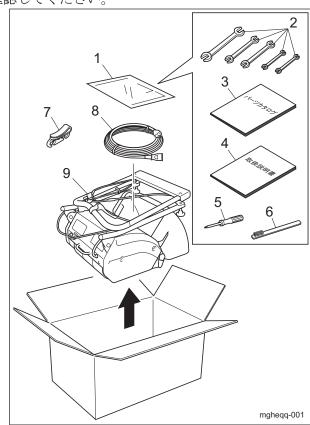
Serial No.10001～　　　　　　　　Original Instructions Ver.1.0

ごあいさつ

このたびは､バロネス製品をお買上げいただきまして､誠にありがとうございます｡
この取扱説明書は､本機の正しい取扱方法と調整方法､また点検方法について説明しています｡
機械をご使用になる前に必ず本書をお読みいただき､内容を十分にご理解の上､ご使用ください｡
いつまでも優れた性能を発揮させ､安全な作業をしていただきますようお願いいたします｡

梱包品の確認

注意

ダンボール箱から本体を取り出す際は、刃物で手や指を切らないように十分注意してください。

ダンボール箱を開封し、梱包品が全て揃っているか確認してください。

梱包品の確認_001

1	付属品
2	スパナ
3	パーツカタログ
4	取扱説明書
5	ドライバー（+・-差替えタイプ）
6	ブラシ
7	ベルトストラップ
8	延長コード
9	本体

参考：
段ボール箱、梱包材は収納時や移転時に必要です。大切に保管してください。

はじめに

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からない、適切な方法でご使用ください。

この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

この説明書に無い保守、整備などは決して行わないでください。

整備を行う場合は専門知識のある要員によって作業を行ってください。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社または、弊社代理店におたずねください。

お問合せの際には、必ず製品の型式と製造番号をお知らせください。

株式会社　共栄社

注意

本書記載事項は、改良のため予告なしに変更する場合があります。
部品交換を行う場合は、必ず「BARONESS 純正部品」または「弊社指定部品」を使用してください。
純正部品以外の部品を使用して生じた不具合については責任を負いかねます。

安全マークの説明

本機には、正しく安全な操作を行っていただくために印をつけた警告表示ラベルを貼付しています。
警告表示ラベルは安全上、特に重要な項目を示していますので、警告を必ず守り、安全な操作を行ってください。

696cq5-001

このマークは「危険」「警告」「注意」に関する項目を意味します。

いずれも安全確保のための重要事項が記載してありますので、注意してお読みいただき、十分理解してから作業を行ってください。

これらを遵守されない場合、事故につながる恐れがあります。

危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。

警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しています。

注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのある、または物的損傷の発生が予測されるものを示しています。

重要

製品の構造などの注意点を示しています。

はじめに

警告表示について

	必ず指示に従ってください。
	刃物注意
	回転物巻込み注意
	危険マーク（飛散物）
	絶対に行わないでください。
	絶対に触れないでください。
	絶対に分解、改造しないでください。
	感電注意

目次

安全

安全

事故を防止するために、以下に示す安全のための注意事項を必ずお守りください。
特に危険警告記号のついた事項にご注意ください。
危険警告記号は、「注意」「警告」または「危険」の文字と共に表示され、いずれも安全作業のための重要事項を示します。
これらを遵守されないと人身事故につながる恐れがありますので、十分にご注意ください。

安全上の注意

⚠ 警告

警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。
以下の安全指示に従い、安全な作業を行ってください。

1. 取扱方法や安全注意事項をよく理解してから機械を使用してください。
   〔1〕本機は鋭利な回転刃でサッチを集めたり、伸びたほふく茎を刈取る機械ですので、誤って使用すると大変危険です。
   構造をよく理解の上、使用してください。
   〔2〕本機には幼児やペットを近づけないでください。
   〔3〕子供に使用させないでください。
2. 作業に適した衣服で機械を使用してください。
   安全のため、保護器具、保護メガネ、靴、手袋等を着用し、必ず長ズボンで作業を行ってください。
   機械に巻込まれたり、刃物に当たった小石類が飛散し、思わぬケガをする恐れがあります。
3. ご使用前に回転刃に異常がないか点検してください。
   回転刃にひび、欠けなどの異常があった場合は、お買上げの販売店または弊社に修理を依頼してください。
   そのまま使用すると、思わぬケガをする恐れがあります。
4. 誤って本機を落としたり、ぶつけたときは異常がないか確認してください。
   機体などに破損や亀裂、変形などがないか点検してください。
   それらを修復しないまま作業すると、思わぬケガをしたり、機械の故障の原因となります。
5. 使用電源は、AC100 V（50/60 Hz）を使用してください。
   AC100 Vを越える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、故障やケガをする原因となります。
6. 可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。
   思わぬ事故をおこし、本機の破損またはケガをする恐れがあります。
7. 必ず集草箱を取付けて作業を行ってください。
   集草箱を取付けずに作業をすると、小石類や刈った芝が飛散し、思わぬケガをする恐れがあります。
   また、刃物が回転している間は、排出口の近くには小石類の飛散の危険がありますので、手や顔を近づけないでください。
8. 屋外使用に適した延長コードを使用してください。
   本機をご使用の際は、必ず付属の延長コード（10 m）を使用してください。
   指定以外のコードを使うと感電、ショート、発火の恐れがあります。
9. 本機を使用中にコードを切断しないように注意してください。
   万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに使用を止め、電源プラグを抜いてください。
   感電する恐れがあります。
10. スイッチレバーを放した後も回転刃に注意してください。
    スイッチレバーを放した後も、回転刃はしばらく回っています。
    機械の持ち運びや集草箱の脱着、点検、お手入れは、必ず回転刃が止まっていることを確認し、電源プラグを抜いてから行ってください。
11. 回転刃に触れる場合は必ず電源プラグを抜き、手袋を着用してください。
    刃先は非常に鋭利で、不意にスイッチが入り回転すると大変危険です。
    取扱い時は必ず手袋を着用し、ケガをしないように注意してください。
12. 感電には注意してください。
    〔1〕濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。
    〔2〕雨中で使用しないでください。
    〔3〕水洗いをしないでください。
    〔4〕雨ざらしにしないでください。
13. 本機を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
    絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。
    〔1〕運搬するときは電源プラグを抜いてください。
    〔2〕点検や整備をするときは電源プラグを抜いてください。
    〔3〕部品等を交換するときは電源プラグを抜いてください。

〔4〕その他、危険が予想される場合は電源プラグを抜いてください。

14. 本機の修理をするときは修理技術者以外の人が行わないでください。
修理の知識や技術のない人が修理すると、事故や故障またはケガの原因になります。
必ずお買求めの販売店または、弊社に依頼してください。

⚠ 注意

警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れがあります。
また、物的損害の発生が予測されます。
以下の安全指示に従い、安全な作業を行ってください。

15. ご使用前に異常がないか点検してください。
〔1〕ボルト、ナットに緩みがないか確認してください。
〔2〕カバー、集草箱はきちんと取付けられているか点検してください。
〔3〕異常音、変形、破損等がある場合は、必ず修理してから使用してください。

16. 本機の改造をしないでください。
〔1〕本機は該当する安全規格に適合しています。改造はしないでください。
〔2〕モータカバー内部にある白色の薄い板、キャップおよびブッシュは感電を防ぐものです。
絶対に取外さないでください。
〔3〕本機の手入れに必要な部品は安全確保のために、純正部品を使用してください。

17. ご使用になる場所の障害物を取除いてください。
小石、木片、金属片等が飛散して危険です。
また、刃先を傷めます。

18. 勾配の急な斜面では特に注意して使用してください。
〔1〕不安定な場所に放置すると、倒れて危険です。
〔2〕本機を保持していないと機械が振れ、思わぬケガをする恐れがあります。

19. 異物を噛込んだときは、すぐにスイッチレバーを放し、電源プラグを抜いてください。
異物を噛込んだまま作業を続けると故障の原因となります。
噛込んだ異物は取除き、刃物に異常がないか点検してから作業を再開してください。

20. コードを乱暴に扱わないでください。
〔1〕コード部を引っ張りコンセントから抜かないでください。
〔2〕コードを熱、油の近くや角の尖った場所に近づけないでください。
〔3〕コードは定期的に点検し、損傷している場合は、新しいものと交換してください。

21. 本機を他人に貸すときは取扱方法を説明してください。
本機を他人に貸すときは取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領をよく説明してください。
取扱説明書を渡し、使用前によく読むように指導してください。

廃棄

廃棄

廃棄処分

廃棄処分について

整備、修理等の作業で出た廃棄物については、地域の法律に従って適切に処分してください。
(例：廃油、不凍液、バッテリ、ゴム製品、配線等)

製品概要

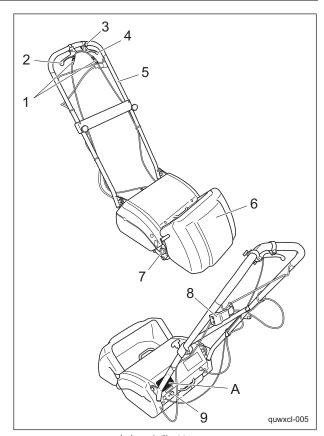
製品概要

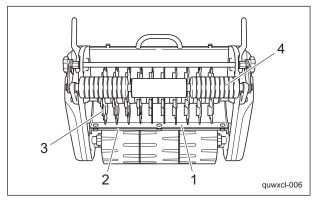
仕様

注意

本機は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。

電源	AC100（50/60 Hz）
定格時間	連続
モータ消費電力	270 W
作業巾	25 cm
作業高さ	-3、-1、1、3、5 mm（5 段階）
回転刃	直径 13.8 cm　刃数 10 枚　刃の間隔 28 mm　チップ厚み 1.2 mm
寸法	全長 114 cm　全高 89 cm　全巾 42 cm
能力	350 - 420 m²/h（約 100 - 130 坪）
総質量	21.3 kg

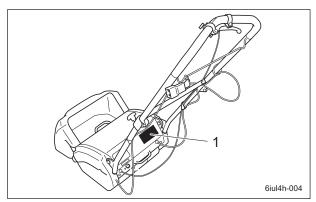
各部の名称

各部の名称_001

1	アジャスタボルト
2	走行レバー
3	ロックボタン
4	スイッチレバー
5	ハンドル
6	集草箱
7	調整ツマミ
8	電源プラグ
9	ブレーカボタン
A	機番プレート

各部の名称_002

1	サッチ受板
2	延長板
3	回転刃
4	前ローラー

機番プレート

機番プレートは、機種名と製造番号、定格電圧、定格消費電力、定格周波数が記載されています。

機番プレート_001

警告ラベル・指示ラベル貼付位置

警告ラベル・指示ラベル貼付位置_001

警告ラベル・指示ラベルの説明

1		K4205001640 警告ラベル 1. ⚠ 警告 手足を切る – 刃に触れる場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 2. ⚠ 警告 感電 – 雨中で使用しないでください。 3. ⚠ 注意 取扱説明書をお読みください。

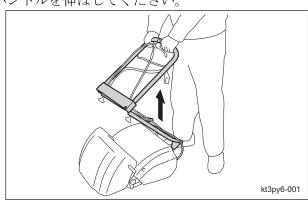
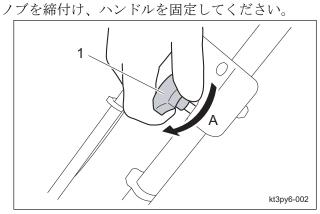
取扱説明

使用前の準備

ハンドル

ハンドルを伸ばしてください。

ハンドル_001

ノブを締付け、ハンドルを固定してください。

ハンドル_002

1	ノブ
A	締付ける

使用前の点検

機械の性能を引き出し、長くご使用いただくために、必ず作業前の始業点検をしてください。

回転刃の点検

電源プラグをコンセントから抜いた状態にしてください。

注意

回転刃の刃先は鋭利なため、大変危険です。
取扱い時は必ず手袋を着用し、ケガをしないように注意してください。

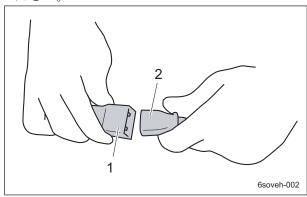
重要

回転刃の曲がりは、プライヤーで修正してください。
修正できない場合は、弊社または、弊社代理店に修理を依頼してください。

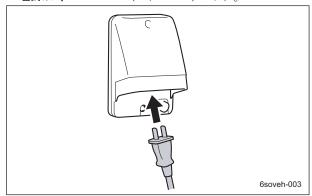
使用頻度や作業中の異物の噛込み､移動中での損傷により切れにくくなることがあります。
点検をし､必要に応じて回転刃を修正してください。

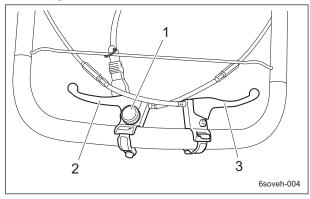
1. 回転刃にひび、欠け等の異常がないか確認してください。
2. 回転刃の刃先に曲がりがないか確認してください。

作動の点検

1. 本機の電源プラグを延長コードに差込んでください。

作動の点検_001

1	電源プラグ
2	延長コード

2. 延長コードをコンセントに差込んでください。
   電源は、AC100 V (50/60 Hz) です。

作動の点検_002

3. ロックボタンを押しながら、スイッチレバーを握り、回転刃を回します。
   回転刃がスムーズに回るか確認してください。
   スイッチレバーから手を離すと、回転刃が止まります。

作動の点検_003

1	ロックボタン
2	スイッチレバー
3	走行レバー

4. スイッチレバーを握っている時に、走行レバーを握ると本機が自走します。
   本機が正常に自走するか確認してください。
   走行レバーから手を放すと、本機の走行が停止します。
5. 作動しないときは、調整してください。(「メンテナンス」(Page 5-1)参照)

締付トルク

標準締付トルク

ボルト、ねじ類

特別指示のないボルト、ナットは、適切な工具により適正な締付トルクで締付けてください。
締付が強すぎると「ねじ」は緩んだり、破損したりします。締付強さは、ねじの種類、強度、ねじ面や座面の摩擦等で決めております。
一覧表は、亜鉛メッキまたはパーカー処理したボルトを対象としております。めねじの強度が弱い場合は適用できません。
錆びていたり、砂等が付着している「ねじ」は、使用しないでください。所定の締付トルクを与えても締付け不足になります。ねじ面の摩擦が大きくなり、締付トルクのほとんどを摩擦損失し、締付ける力になりません。「ねじ」が水や油で濡れている場合は、通常の締付トルクで締めないでください。ねじが濡れるとトルク係数が小さくなり、締め過ぎになります。締め過ぎると、ねじが伸びて緩んだり、破損することがあります。一度、大きな負荷がかかったボルトは、使用しないでください。
インパクトレンチで締めるときは、熟練が必要です。できるだけ安定した締付け作業ができるように練習してください。

呼び径	一般ボルト		
	強度区分 4.8		
	M 4 T 4.8 tib3yb-001		
	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	3 - 5	30.59 - 50.99	26.55 - 44.26
M6	7 - 9	71.38 - 91.77	61.96 - 79.66
M8	14 - 19	142.76 - 193.74	123.91 - 168.17
M10	29 - 38	295.71 - 387.49	256.68 - 336.34
M12	52 - 67	530.24 - 683.20	460.25 - 593.02
M14	70 - 94	713.79 - 958.52	619.57 - 831.99
M16	88 - 112	897.34 - 1142.06	778.89 - 991.31
M18	116 - 144	1,182.85 - 1,468.37	1,026.72 - 1,274.54
M20	147 - 183	1,498.96 - 1,866.05	1,301.10 - 1,619.73
M22	295	3,008.12	2,611.05
M24	370	3,772.89	3,274.87
M27	550	5,608.35	4,868.05
M30	740	7,545.78	6,549.74

呼び径	調質ボルト					
	強度区分 8.8			強度区分 10.9		
	8 8 T 8.8 tib3yb-002			11 11T 10.9 tib3yb-003		
	N-m	kgf-cm	lb-in	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	5 - 7	50.99 - 71.38	44.26 - 61.96	7 - 10	71.38 - 101.97	61.96 - 88.51
M6	8 - 11	81.58 - 112.17	70.81 - 97.36	14 - 18	142.76 - 183.55	123.91 - 159.32
M8	23 - 29	234.53 - 295.71	203.57 - 256.68	28 - 38	285.52 - 387.49	247.83 - 336.34
M10	45 - 57	458.87 - 581.23	398.30 - 504.51	58 - 76	591.43 - 774.97	513.36 - 672.68
M12	67 - 85	683.20 - 866.75	593.02 - 752.34	104 - 134	1,060.49 - 1,366.40	920.50 - 1186.03
M14	106 - 134	1,080.88 - 1,366.40	938.21 - 1,186.03	140 - 188	1,427.58 - 1,917.04	1,239.14 - 1,663.99
M16	152 - 188	1,549.94 - 1,917.04	1,345.35 - 1,663.99	210 - 260	2,141.37 - 2,651.22	1,858.71 - 2,301.26
M18	200 - 240	2,039.40 - 2,447.28	1,770.20 - 2,124.24	280 - 340	2,855.16 - 3,466.98	2,478.28 - 3,009.34
M20	245 - 295	2,498.27 - 3,008.12	2,168.50 - 2,611.05	370 - 450	3,772.89 - 4,588.65	3,274.87 - 3,982.95
M22	—	—	—	530	5,404.41	4,691.03
M24	—	—	—	670	6,831.99	5,930.17
M27	—	—	—	1,000	10,197.00	8,851.00
M30	—	—	—	1,340	14,628.78	11,860.34

参考：
「細目ねじ」についても、同じ数値とする。

使用前の調整

作業高さの調整

注意

電源プラグをコンセントから抜いた状態にしてください。

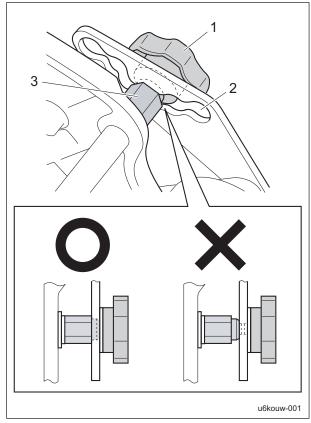
重要

作業高さは、芝生の管理作業の種類によって調整してください。

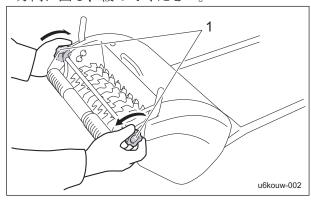
重要

ブラケットは、左右同じ位置に設定してください。

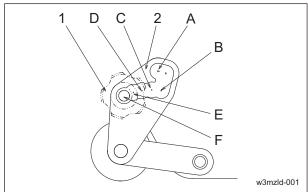
重要

ブラケットの孔位置がずれたまま調整ツマミを締めると作業高さが左右揃いません。
また、部品を傷める原因となりますので注意してください。

作業高さの調整_001

1	調整ツマミ
2	ブラケットの孔
3	前ローラー受金

1. 本機を水平な場所に移動してください。
2. 本機の両端にある調整ツマミを同時に反時計方向に回し、緩めてください。

作業高さの調整_002

1	調整ツマミ

3. ブラケットを任意の作業高さの孔位置に移動させ、調整ツマミを締付けてください。

作業高さの調整_003

1	調整ツマミ
2	ブラケット
A	12 mm（保管時）
B	5 mm
C	3 mm
D	1 mm
E	-1 mm
F	-3 mm

延長板の調整

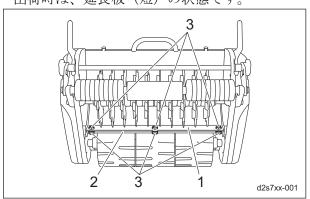
以下の場合、延長板の調整が必要です。

- 作業場所が荒れていて、芝面にハンドルがとられてしまう場合は、延長板（短）の状態にしてください。
- 作業後に芝カスが全面にこぼれている場合は、延長板（無）の状態にしてください。

電源プラグをコンセントから抜いた状態にしてください。

重要

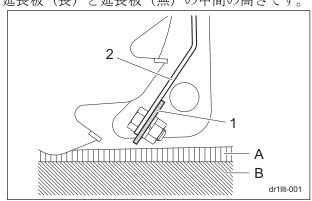
延長板が左右同じ高さで、まっすぐ取付られていることを確認してください。

1. 本機を水平な場所に移動してください。
2. 本機を裏返してください。
3. ボルト・ナットを取外し、延長板を任意の位置に調整してください。
出荷時は、延長板（短）の状態です。

延長板の調整_001

1	サッチ受板
2	延長板
3	ボルト・ナット

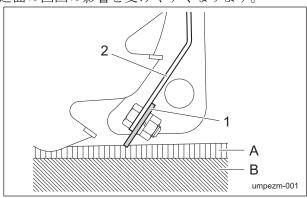
4. ボルト・ナットを取付けてください。

延長板（短）の状態

出荷時の状態です。
集草に問題がなければ変更する必要がありません。
延長板（長）と延長板（無）の中間の高さです。

延長板（短）の状態_001

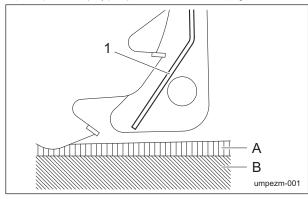
1	延長板
2	サッチ受板
A	芝面
B	地面

延長板（長）の状態

作業場所の芝面が整っており、回収量を増やしたい場合に使用します。
延長板を上下反対に組付ける事により、先端が下がり、後方へのサッチのモレを少なくします。
芝面の凹凸の影響を受けやすくなります。

延長板（長）の状態_001

1	延長板
2	サッチ受板
A	芝面
B	地面

延長板（無）の状態

芝面が凹凸しており、延長板が芝面にひっかかる場合に使用します。
後方へのサッチのモレは多くなります。
芝面の凹凸の影響を受けにくくします。

延長板（無）の状態_001

1	サッチ受板
A	芝面
B	地面

各部の操作方法

機械操作上の注意

⚠ 注意

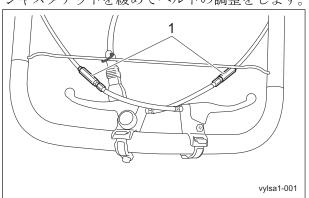
どのような場合にも、緊急停止ができるような速さで運転してください。

機械を離れるときの注意

⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜いた状態にしてください。

アジャスタボルト

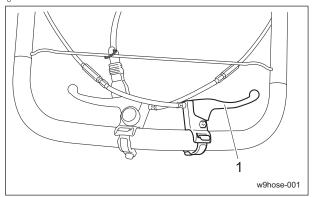
アジャスタボルトは､テンションワイヤに取付いています。
走行レバーを握っても前進しない場合や､停止してしまう場合、アジャスタボルトをスパナで固定し、アジャスタナットを緩めてベルトの調整をします。

アジャスタボルト_001

1	アジャスタボルト

走行レバー

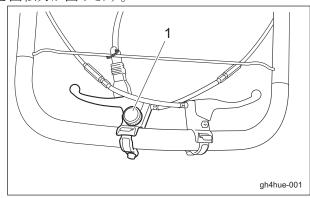
重要

回転刃が回っていないと、走行レバーを握っても走行しません。

走行レバーは、ハンドルの右側にあります。
回転刃を回し、走行レバーを握ると本機が自走します。

走行レバー_001

1	走行レバー

ロックボタン

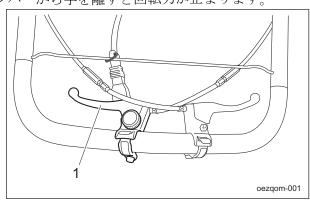
ロックボタンは、ハンドルの左側にあります。
ロックボタンを押しながら、スイッチレバーを握ると回転刃が回ります。

ロックボタン_001

1	ロックボタン

スイッチレバー

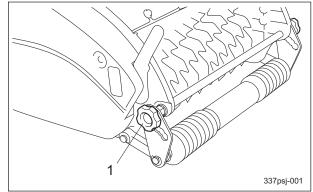
重要

ロックボタンを押していないと、スイッチレバーを握っても回転刃は回りません。

スイッチレバーは、ハンドルの左側にあります。
ロックボタンを押しながら、スイッチレバーを握ると回転刃が回ります。
レバーから手を離すと回転刃が止まります。

スイッチレバー_001

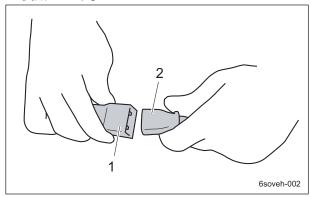
1	スイッチレバー

調整ツマミ

調整ツマミは、本体前部の前ローラー左右にあります。
ブラケットを任意の作業高さの孔位置に調整する際に使用し、反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。

調節ツマミ_001

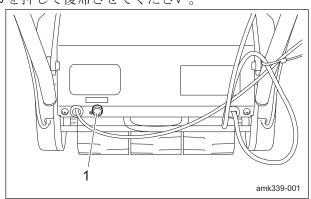
1	調節ツマミ

電源プラグ

電源プラグは、作業をする際に、延長コードと接続して使用します。

電源プラグ_001

1	電源プラグ
2	延長コード

ブレーカボタン

ブレーカボタンは、本機後方にあります。
過電流が一定時間流れるとブレーカが作動し、本機が停止します。
停止した場合は、原因を調べて処置した後、ブレーカを押して復帰させてください。

ブレーカボタン_001

1	ブレーカボタン

参考：
過電流は、刃の部分に異物が噛込み、モータが停止している状態でスイッチレバーを握り続けると発生します。

移動

運搬操作

⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜いた状態にしてください。

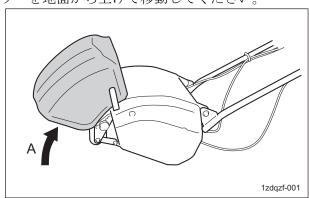
⚠ 注意

ハンドルが他のものに当たり危険なので、ハンドルを伸ばしたまま機械を持上げないでください。

重要

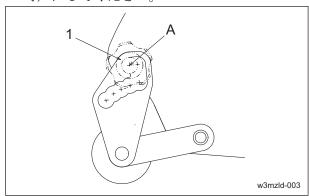
回転刃を傷めないように注意してください。

手押し運搬

ハンドルを伸ばしたまま移動する場合は、前ローラーを地面から上げて移動してください。

手押し運搬_001

A	上げる

持上げ運搬

1. 機械を持上げて運ぶ場合は、回転刃の保護と床を傷つけないため、作業高さを 12 mm（保管時）にしてください。

持上げ運搬_001

1	調節ツマミ
A	12 mm（保管時）

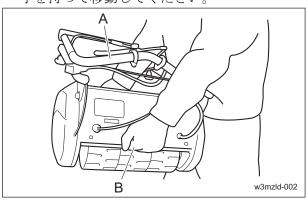
2. ハンダルを折りたたみ、両手でそれぞれの取手を持って移動してください。

持上げ運搬_002

A	ハンドル
B	取手

刈込み

刈込操作

注意

作業前には、作業する場所の異物を必ず取除いてください。
芝生内に小石・木片・金属等がありますと、刃先を傷めます。

重要

作業中は集草箱内のサッチ量に注意し、いっぱいになる前に捨ててください。

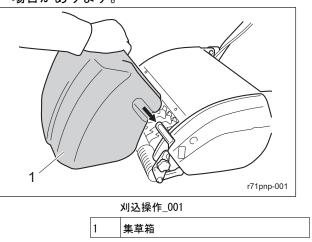
重要

寒冷地芝の場合、夏期での使用は芝管理に関する知見を得てから、成育状況に配慮して使用してください。

注意

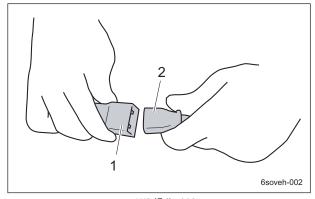
集草箱は必ず取付て作業してください。
小石等やサッチが飛散して、思わぬケガをする場合があります。

刈込操作_001

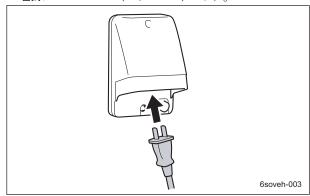
1	集草箱

1. 電源コードのプラグをコンセントに差込む前に、以下のことを確認してください。
   - 回転刃の状態が良好なこと。
   - 作業高さの設定が終わっていること。
   - 集草箱が本機に取付けられていること。

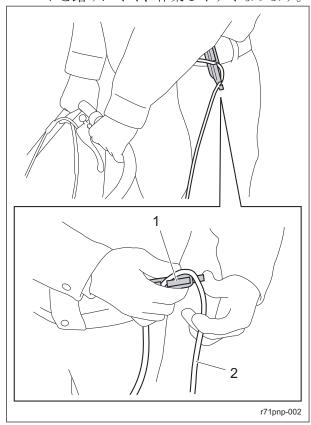
注意

作業中は、延長コードが作業範囲内に入らないように注意してください。

2. 本機の電源プラグを延長コードに接続してください。

刈込操作_002

1	電源プラグ
2	延長コード

3. 延長コードをコンセントに差込んでください。電源はAC100 V (50/60 Hz) です。

刈込操作_003

4. 付属のベルトストラップで手元からのコードをベルトにかけてください。
コードを踏みにくく、作業しやすくなります。

刈込操作_004

1	ベルトストラップ
2	コード

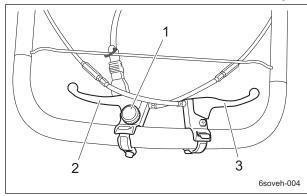
警告

ロックボタンは安全のためのものです。
外したり改造したりしないでください。

警告

スイッチレバーを握ったままで固定（紐で縛る等）するなどの改造をしないでください。
事故や故障またはケガの原因になることがあります。

> ▲警告
>
>
>
> **走行レバーを握ったままで固定（紐で縛る等）するなどの改造をしないでください。**
> **事故や故障またはケガの原因になることがあります。**

5. ロックボタンを押しながら、スイッチレバーを握ると回転刃が回ります。
   レバーから手を離すと回転刃が止まります。

刈込操作_005

1	ロックボタン
2	スイッチレバー
3	走行レバー

6. スイッチレバーを握りながら、走行レバーを握ると本機が自走し、作業を始めます。

芝生の管理作業

芝生の管理作業には、以下の種類があります。
各作業内容を理解した上で、作業を行ってください。

サッチング

過大に蓄積したサッチ（芝生の下層部 － 土壌表面の有機的な堆積物）を機械的に除去し拾い集めます。
また、伸びたほふく茎を刈取ります。

作業手順

1. 芝刈り機を使用して刈込みを行い、芝面を整えてください。

> 重要
>
> **必要に応じて複数の異方向作業を行ってください。**

2. 回転刃をお好みの高さ（-1 mm、-3 mm）に設定し、芝面に対して作業を行ってください。
   参考：
   芝生内のサッチング作業を初めて行う場合は、高さを 1 mm に設定して作業を行います。
   その作業状態を確認後、お好みの高さに設定を変更してください。
3. 芝刈り機を使用して刈込みを行ってください。
4. 作業後は、芝生が乾燥しないように薄く目土（目砂）を入れてください。

グルーミング

長めで寝ている芝生の葉を綺麗に刈取るために、芝生を立たせて揃え、間引きします。

作業手順

> 重要
>
> **必要に応じて複数の同一方向作業を行ってください。**

1. 回転刃をお好みの高さ（5 mm、3 mm、1 mm）に設定し、芝面に対して作業を行ってください。
2. 芝刈り機を使用して刈込みを行ってください。

芝種子の追いまき準備

芝生の種子を追いまきする際に、発芽を助けるために溝を入れます。

作業手順

1. 回転刃を-3 mm に設定し、芝面に対して作業を行ってください。
   1 cm 間隔程度の溝が目安となります。
   参考：
   本機の回転刃の間隔は 28 mm です。

> 重要
>
> **ご購入された芝種子の説明書に従ってください。**

2. 芝種子を播いてください。

トランジッション

ウィンターオーバーシードを行った際に 4 － 5 月頃、寒地型芝から暖地型芝への切替を行うために、寒地型芝を衰退させます。

作業手順

1. 芝刈り機を使用し、刈高 10 mm 以下で刈込みをしてください。
   参考：
   刈高は、5 － 6 mm 程度の刈高が望ましいです。

> 重要
>
> **必要に応じて複数の作業を行ってください。**

2. 回転刃を-3 mmに設定し、芝面に対して作業を行ってください。
3. 寒地型芝が衰退しにくい場合は、繰り返し作業を行ってください。

メンテナンス

メンテナンス

メンテナンス上の注意

⚠ 注意

実施するメンテナンスを熟知してから行ってください。

⚠ 注意

メンテナンスをする際に必要な工具は、目的にあったものを使用してください。

⚠ 注意

常に安全に、最高の性能でお使い頂くために、交換部品やアクセサリはBARONESS純正部品をお求めください。
純正部品以外の部品をご使用になった場合、製品保証を受けられなくなる場合がありますので、ご注意ください。

メンテナンススケジュール

メンテナンススケジュールは、以下の通りです。
○・・・点検
●・・・調整
△・・・清掃

メンテナンス項目	作業前	作業後	長期保管	備考
各部の締付	○			緩み
清掃（外観）		△		
清掃（内部）			△	
ナイフ	○			ひび、欠け
刈込高さ	●			
グリースアップ・注油			○	
カバー	○			割れ、変形
ベルト	○			滑り
ワイヤ	○			切れ

消耗品については、保証値ではありません。

主な消耗部品

部品名	コード番号
F・スターベルト	K2380000030
Vベルト	K2300020000

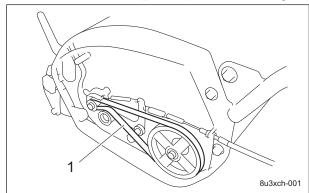
メンテナンス・本体

ベルトの張り調整

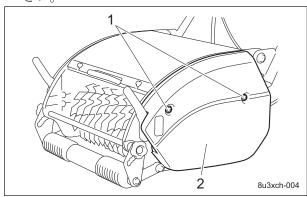
F・スターベルト

注意

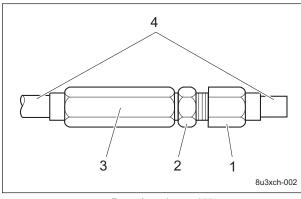
ベルトの調整をする場合は、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

走行レバーを握っても前進しない場合や停止する場合は、テンションワイヤのアジャスタボルトでスターベルトの張りの調整を行ってください。

F・スターベルト_001

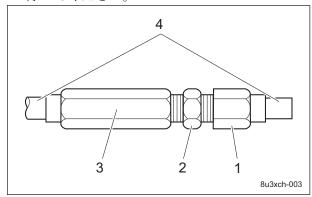
1	F・スターベルト

1. ねじを 2 本取外し、左カバーを取外してください。

F・スターベルト_002

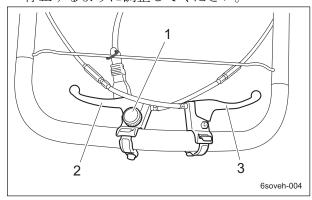
1	ねじ
2	左カバー

2. アジャスタナットをスパナで固定し、固定ナットを緩めてください。

F・スターベルト_003

1	アジャスタボルト
2	固定ナット
3	アジャスタナット
4	テンションワイヤ

3. アジャスタボルトをスパナで固定し、アジャスタナットを緩めて、スターベルトの調整を行ってください。

F・スターベルト_004

1	アジャスタボルト
2	固定ナット
3	アジャスタナット
4	テンションワイヤ

4. 走行レバーを軽く握るだけで前進し、放せば停止するように調整してください。

F・スターベルト_005

1	ロックボタン
2	スイッチレバー
3	走行レバー

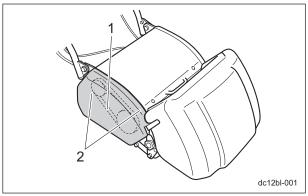
5. アジャスタナットをスパナで固定し、固定ナットでロックしてください。

V ベルト

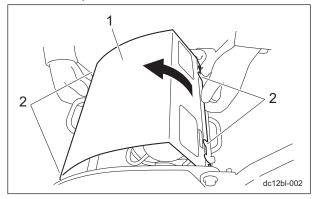
 注意

ベルトの調整をする場合は、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

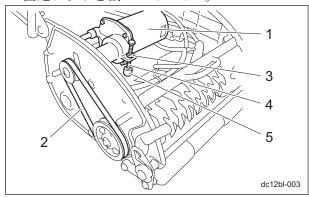
スイッチレバーを握っても回転刃が回転しない場合は、調整ボルトで V ベルトの張りの調整を行ってください。

1. ねじを 2 本取外し、右カバーを取外してください。

V ベルト_001

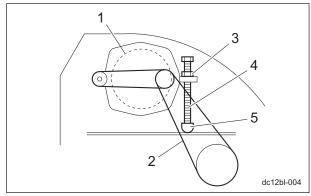
1	右カバー
2	ねじ

2. ねじを 4 本取外し、モータカバーを取外してください。

V ベルト_002

1	モータカバー
2	ねじ

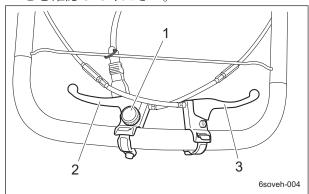
3. 固定ナットを緩めてください。

V ベルト_003

1	モータ
2	V ベルト
3	固定ナット
4	調整ボルト
5	絶縁キャップ

4. 調整ボルトを締込み、V ベルトを張ってください。

V ベルト_004

1	モータ
2	V ベルト
3	固定ナット
4	調整ボルト
5	絶縁キャップ

5. 本機の電源プラグを延長コードに接続してください。
6. 延長コードをコンセントに差込んでください。電源は AC100 V (50/60 Hz) です。

7. スイッチレバーを握り、回転刃が回転することを確認してください。

V ベルト_005

1	ロックボタン
2	スイッチレバー
3	走行レバー

8. 固定ナットでロックしてください。
9. モータカバーを取付けてください。
10. 右カバーを取付けてください。

モータカバー内の清掃

注意

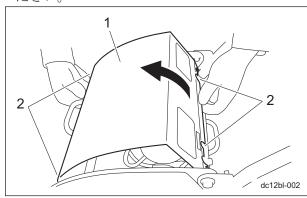
モータカバーの清掃をする場合は、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

注意

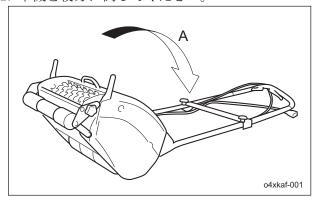
モータカバー内部にある白色の薄い板、キャップおよびブッシュは感電を防ぐものです。
絶対に取外さないでください。

重要

本機は、モータカバー内にサッチやほこり等が入りにくいような設計をしておりますが、使用場所や使用頻度により次第に堆積する可能性があります。
サッチやほこりが堆積した状態（内部の配線が見えない程度）でご使用になると故障の原因となります。
使用後一年経過したら、清掃をしてください。
その後は、堆積した量と使用状況により間隔を決めて清掃をしてください。

1. ねじを 4 本取外し、モータカバーを取外してください。

モータカバー内の清掃_001

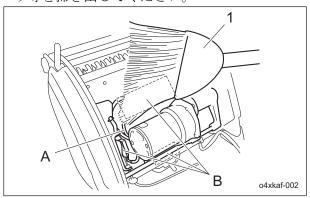
1	モータカバー
2	ねじ

2. 本機を後方に倒してください。

モータカバー内の清掃_002

A	倒す

注意

モータ内部にサッチやほこり等を入れないでください。
配線を傷つけないようにしてください。

3. ほうき等でカバー内に堆積したサッチやほこり等を掃き出してください。

モータカバー内の清掃_003

1	ほうき
A	配線・モータに注意
B	白い板（絶縁板）の取外し厳禁

4. モータカバーを取付けてください。

長期保管

長期保管について

電源プラグをコンセントから抜いた状態にしてください。

注意

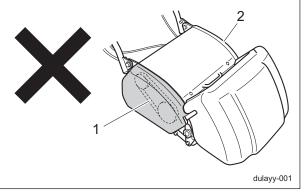
雨ざらしになる場所は避け、必ず屋内に保管してください。

注意

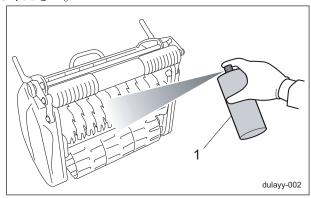
以下の条件に該当する場所には保管しないでください。

- 高温になる場所
- 子供の手が届く場所（簡単に持出せる場所）
- 湿気が多い場所（湿度や温度が急変する場所）
- 直射日光の当たる場所
- 揮発性物質の置いてある場所

注意

保管前に注油する際、左右カバー内部のベルトには絶対注油しないでください。
故障の原因となります。

長期保管について_001

1	右カバー
2	左カバー

刃先や可動部に潤滑スプレー等を吹きかけ、注油してください。

長期保管について_002

1	潤滑スプレー

故障と対処

注意

本機の点検、補修、調整や部品の交換をする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態にしてください。

⚠ 注意

刃先は非常に鋭利なため大変危険です。
取扱い時は必ず手袋を着用し、ケガをしないように注意してください。

⚠ 注意

本機の調子が悪いときは無理にご使用にならず、早めに対処をしてください。
そのままご使用になりますと、故障やケガの原因となります。

⚠ 注意

以下に記載された処置で直らない場合は、必ずお買上げの販売店または弊社に修理を依頼してください。

1. 使用中に本機が動かなくなった。

原因	対処
刃の部分に芝や異物が噛込み、モータが停止している。	1. スイッチレバーを放す。 2. 電源プラグをコンセントから抜く。 3. 刃先に噛込んだ芝や異物を取除く。

2. モータが回らない。
モータの損傷を防ぐために、過電流が一定時間流れ続けるとブレーカが作動し、モータを停止させます。
作業中にモータが停止した場合は、スイッチレバーを放し電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、停止した原因を調べて処置した後、ブレーカボタンを押して復帰させてください。

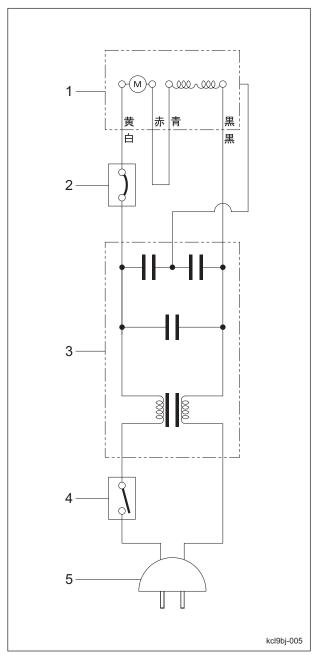
原因	対処
ブレーカが作動している。	ブレーカボタンを押して復帰させる。
延長コードが断線している。	延長コードを交換する。
スイッチ、モータが故障している。	弊社または、弊社代理店に相談する。

3. 走行レバーを握っても前進しない。
または前進してもすぐ停止する。

原因	対処
F・スターベルトが緩んでいる。	アジャスタボルトで張りを調整する。

4. 回転刃がスムーズに回転しない。

原因	対処
V ベルトが緩んでいる。	調整ボルトで張りを調整する。

メンテナンス

電気配線図

電気配線図_001

1	モータ
2	オーバーカーレントリレー
3	コンデンサ
4	マイクロスイッチ
5	電源プラグ